

3位に輝くも悔しい表情の沖縄チーム (提供)



# 沖縄選抜男子3位入賞

## ハンドボールOCジュニア

ハンドボールの第31回JOCジュニアオリンピックカップ大会3日目は27日、徳島県鳴門市のアミノバリーホールで行われた。沖縄選抜男子は準々決勝を26-19で茨城に勝利した。準決勝は31-35で東京に敗れ、3位入賞だった。前半は16-13の3点差で折り返

したが、後半は攻めの応酬が続ぎ、主導権を握られて逆転された。

▽男子準々決勝

東	京	35	22	13	15	16	31	沖	縄	26	16	10	8	11	19	茨	城
		▽同準決勝															

## 2人退場流れ傾く

男子は準決勝で東京に31-35で屈し、悔しい3位だった。春夏で全国を制した神森中の選手をチームの中心に据え、異勢として3冠を狙っていた。

前半序盤から宮城政斗や岡田天雅らの3連続得点でスタートダッシュ

### 焦点

に成功した。GK前城有里の好セーブもあったが、15分過ぎには10-10と同点に追いつかれた。それでも、苦しい場面で右サイドの外間優志が複数得点し、3点差で前半を折り返した。

後半も互いに点を取り合うせめぎ

## 最終盤に連続得点許す

合いが続いたが、5分過ぎまでに反則で2分間の退場者2人を出してしまい、一時は4人で戦う不利な戦況となった。何とか我慢して失点を抑えたが、2人が戻った後に3連続得点を許すなど流れが一気に傾いた。

主将の新垣瑛太郎がパスを供給し、赤嶺尚太郎が長身を生かした得点で食らいつき、最後までシーソーゲームを展開したが、最終盤で連続得点を許し最後は力尽きた。

終了後、コートに倒れるように倒れ込み、うつむく選手たち。表彰式でも悔しさをかみしめたままだった。

(大城三太)